

平成29年度東部地区小・中学校「ステップ・アップ研修」実施報告

1 目的

小・中学校「ステップ・アップ研修」は、初任者研修を踏まえるとともに、1年間の教員としての経験をもとに現職教員研修の一環として、実践的指導力と使命感及び幅広い知見等のより一層の向上を目的とする。

2 期日・会場

7月25日(火)、8月4日(金)
〈午前〉春日部市庄和市民センター
〈午後〉春日部市立桜川小学校

3 受講者数 323人
小学校教諭 220人
小学校教諭 103人

4 日程

〈第1日〉 7月25日(火)

【午前】

- ・開講式
- ・講義「2年次教員に期待すること」
講師：東部教育事務所 所長 清野 定信
- ・講義1「東部の教育を担う教員について」
講師：東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当
主席指導主事 今木 敏浩
- ・講義2「生徒指導等に関する現状と課題」
講師：東部教育事務所 指導主事 山本 直人
- ・講義3「学級経営の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 安東 由美子

【午後】

- ・協議1「生徒指導・教育相談上の課題と指導の工夫」
- ・協議2「学級経営上の課題と指導の工夫」
指導講評：東部教育事務所指導主事

〈第2日〉 8月4日(金)

【午前】

- ・講義4「道徳教育の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 山本 直人
- ・講義5「よい授業のポイント（授業づくりについて）」
講師：東部教育事務所 指導主事 和田 進
- ・講義6「先輩に学ぶ」
講師：三郷市立北中学校 教諭 中三川 真弓
- ・受講者代表発表「学級経営の充実」
発表者：羽生市立羽生南小学校 教諭 角田 彩

【午後】

- ・協議3「道徳の時間における指導方法の工夫」
- ・協議4「学習指導における実践と今後の課題」
指導講評：東部教育事務所指導主事

5 内容・受講者感想

講義 「2年次教員に期待すること」

東部教育事務所 所長 清野 定信

- 1 はじめに
- 2 生徒指導ができる教員に
 - (1) 生徒指導の機能を生かす
- 3 皆さんとの共感的人間関係のために
 - (1) 数々の失敗談 (2) ちょっとだけ、成功談
- 4 その他
 - (1) 条件付採用期間 (2) 経験人事 (3) 5年経験者研修の時に差がでる
 - (4) 20年後を見据えて成長を



【受講者感想】

- ・先日、校長より自己指導能力についての話があったところなので、自己指導能力の育成を学級経営の目標にしようと考えていました。本日は具体的な実践例を教えてください、改めて教師としての意欲を持つことができました。
- ・厳しさの中に愛情ある指導が大切だと感じた。教師の失敗談を話すと、子供は興味を持って話を聞く。共感的人間関係を築いていけるよう努力したい。
- ・改めて埼玉県、東部地区、〇〇市の教員であることに誇りを持って教員を続けていきたいです。また、いろいろとチャレンジしていきたいです。

講義 1 「東部の教育を担う教員として」

東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当

主席指導主事 今木 敏浩

- はじめに
 - 1 教えるプロとしての教師
 - (1) プロフェSSIONALとは
 - (2) 2つの研究が示すこと
 - (3) 教員免許状の意味
 - (4) 子供たちの笑顔のために
 - 2 法令に基づいた職務
 - (1) 教員の服務 (2) 職務上の義務と身分上の義務 (3) 不祥事防止
 - 3 夏季休業中にやっておいてほしいこと
- おわりに



【受講者感想】

- ・「いい先生に出会うと人生が変わる」という言葉が印象に残っています。子供たちの力を確実に伸ばしてあげられるような教員になりたいと思いました。プロとしての自覚を持ちたいです。
- ・教えるプロとしての自覚を持ち、生徒一人一人に寄り添いながら、「先生に会えてよかった」と思われるような教員を目指したい。また、夏季休業中も自己研鑽に励もうと思います。

講義 2 「生徒指導等に関する現状と課題」

東部教育事務所 指導主事 山本 直人

- 1 はじめに
生徒指導とは
- 2 東部地区の児童生徒の問題行動等の状況
(1) 暴力行為 (2) 不登校 (3) いじめ
(4) 携帯電話に係るトラブルについて
- 3 おわりに
これからの生徒指導で意識すること



【受講者感想】

- ・学校全体で共通理解を図り、統一感のある指導を徹底することが大切だと感じた。私のクラスには不登校の生徒がいるので、一人で抱え込まず、周囲の先生方やＳＣと連携し、日々の働きかけを継続していく必要があると感じた。
- ・生徒指導は難しいと感じていたが、あいさつや返事、礼儀など、小さなことから始められることを確認できました。また、積極的な生徒指導を行い、アンテナを高くし、生徒一人一人が安心して生活できる学校をつくっていきたいと思います。
- ・改めて日頃からの生徒指導の重要性を意識しようと思いました。子供たちにとって、心の居場所、絆を高める場としてクラスを形成し、あらゆる機会を通して子供たちに働きかけを行い、成長を促していきたいと思います。

講義 3 「学級経営の充実 ～学級経営のポイントと指導の工夫～」

東部教育事務所 指導主事 安東 由美子

- 1 はじめに
学級経営のねらい
- 2 学級経営の内容
- 3 学級経営の方法
(1) 学級経営案の作成
(2) 潤いのある環境づくり
(3) 保護者との連携
- 4 おわりに



【受講者感想】

- ・手探りで続けている学級経営について、改めて学ばせていただきました。計画的に目標を持って学級経営を進め、教室環境を整備し、保護者との連携を図りながら、よりよいクラスを築いていきます。
- ・環境が人を育てると言われるように、教師や教室環境が児童の成長に大きく関係していることに、再度気付かせていただきました。児童の成長に適した教室環境をつくり、よりよい人間関係を築いていけるよう努力していきたいです。
- ・2年次となり、昨年度受け持った学級との違いに悩んでいたのも、先生からいただいた学級経営の講義は、とても実践的で役立つものばかりでした。先輩方からご指導をいただき、悩みながらも潤いのある学級を目指し、頑張ろうと思いました。

協議 1

「生徒指導・教育相談上の課題と指導の工夫」

協議 2

「学級経営上の課題と指導の工夫」



【受講者感想】

- ・他の先生から自分と同じ悩みを聞いたりしながら、自分だったらどうするかなど、考えながら協議に参加できた。いろいろな解決方法があり、勉強になった。
- ・各校の実践から、学級経営や自己肯定感を高める指導について具体的な話を聞くことができ、勉強になった。今後の参考にしたいと思う。
- ・各学校の課題や取組について意見交換し、対応策を話し合うことで、自分一人ではどうしたらよいか悩む事案も、多くの対応策を見付けることができました。2学期から、新しい取組をはじめたいと思いました。
- ・日々悩んでいる生徒指導や家庭との関わり方について、他の先生方と情報交換をしながら、改めて向き合うことができました。他の学校の事例を聞いて新たな手立てを見付けることができ、よい学びをすることができました。

講義 4

「道徳教育の充実 ～これからの道徳の授業のあり方～」

東部教育事務所 指導主事 山本 直人

- 1 はじめに
- 2 道徳教育・道徳科の目標
- 3 これからの道徳の授業のあり方
 - 今の自分の道徳の授業を振り返ってみましょう
- 4 道徳科における指導の工夫
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・日々の発問に、自分自身で疑問を感じることもあり、道徳授業の進め方に悩んでいました。子供たちに教師の考える方向に誘導するために問うのではなく、本当の思いや考えをぶつけ合い、考え合うことのできる授業をつくりたいです。そのために、学級経営にも力を入れたいです。
- ・自校でも、道徳の特別の教科化に向けて様々な研修が行われています。問題解決の授業等を行っていますが、まだうまく指導でないことも多いので、発問の種類等、学んだことを実践していきたいです。
- ・道徳の特別の教科化にあたり、様々な変化が生じると思います。その中で、今までの自分の授業を振り返り、今後どのように授業を展開していくことが必要なのか、知ることができました。教育の本質として、子供たちに対話的な活動を多く展開していきたいです。

講義 5

「よい授業のポイント（授業づくりについて）」

東部教育事務所 指導主事 和田 進

- 1 はじめに
- 2 授業づくりの前に
 - (1) 児童生徒一人一人の理解
 - (2) 十分な教材研究
- 3 よい授業のポイント
 - (1) 「チェックシート」について
 - (2) 刊行物・資料の活用
- 4 おわりに
 - (1) 新しい学習指導要領を踏まえて
 - (2) 学び続けること

【受講者感想】

- ・教師は授業で勝負するという言葉があるように、しっかりとした準備が必要だと感じた。教材を研究することに加えて、児童を理解するなど、今の自分には足りない部分を感じました。あとは自分の専門とする教科において、板書計画を立てながら授業を実践してみようと思います。
- ・学級担任や校務分掌等の仕事も増え、教材研究にかけられる時間は昨年度に比べて減少してしまっているが、教師としての自覚と責任感を忘れず、生徒一人一人に力をつけられる授業を展開していきたい。
- ・魅力ある授業は、生徒指導等にもよい影響があることが分かりました。一人一人に丁寧に向き合い、様々な資料を参考にしながら、授業づくりを行っていきたいです。

講義 6

「先輩に学ぶ」

三郷市立北中学校 教諭 中三川 真弓 先生

- 1 初任者研修の「特権」が消えたとき
- 2 校務分掌と自分の役割
- 3 学級経営
- 4 保護者対応と接遇
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・先生のテンポのよいお話の仕方と、問題から教訓が導かれるプロセスがとても分かりやすく、感銘を受けました。「学び続ける教師像」にふさわしい実践を見せていただいたように思います。様々なことから学ぶ姿勢を、私も見習わなければいけないと思いました。
- ・経験をもとに、とても面白く、そして実りある講義だった。初任者ではなくなった今、教科においても分掌においても、経験の少なさを言い訳にはならない。何事にも挑戦し、指導者としての力をつけていきたいと強く感じた。
- ・先生の話聞いて、とても元気をもらいました。失敗から学ぶ、という内容でしたが、どれもとても力強く、前向きに取り組んでいる姿が、すごいと思いました。改めて、「私も頑張らなければ」と感じた時間でした。

受講者代表発表

「教員生活2年目を迎えて」

羽生市立羽生南小学校 教諭 角田 彩 先生

- 1 羽生市について
- 2 羽生南小学校の紹介
- 3 教員1・2年目の実践
 - (1) 登校時・朝の活動の取組
 - (2) 授業中・学習指導の取組
 - (3) 休み時間・給食・清掃時間の取組
 - (4) 下校時・放課後の取組
- 4 2年目の教員としてできること
 - (1) チャレンジする
 - (2) 学び続ける
 - (3) チームの一員として行動する
 - (4) 今後の教員生活について考える

【受講者感想】

- ・同じ2年次の教員として、日々試行錯誤しながら取り組んでいることを知り、刺激を受けました。自分自身も同僚や同期の友達に負けないように、教師として日々、成長していきたい。
- ・先生の話聞き、登校時から下校するまでの取組を一つ一つ丁寧に行うことの大切さを感じました。自分自身も2年目として、昨年度より充実した教育活動が行えるように、具体的な方策を考えていきたいです。
- ・同期の先生が、どのような取組をされているのか、とても気になっていたもので、とてもよい機会だった。先生の思いがクラスに伝わるようにするには、日々のコミュニケーションが大切だということもわかりました。私自身も勉強を重ね、子供たちとの関係を大切にしていきたい。

協議3

「道徳の時間における指導方法の工夫」

協議4

「学習指導における実践と今後の課題」



【受講者感想】

- ・2年次となりましたが、授業に不安を抱えています。同期の先生方が実際に行っている取組を聞き、その中には自分でもできそうなことがいくつかありました。実際の指導に生かしていきたいです。
- ・道徳の授業を、同じ2年目の先生方がどのように行っているのか、どのような工夫をしているのか知ることができ、大変刺激になりました。私自身も今後、子供たちが様々な視点から考え、深めることができるよう、授業の展開を工夫していきたいと思えます。

6 感想記入用紙から

<第1日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	91.2	8.5	0.4	0.0	3.91
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	90.5	8.8	0.7	0.0	3.90
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	70.7	27.2	1.8	0.4	3.68
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	96.8	3.2	0.0	0.0	3.97

<第2日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	92.4	7.3	0.3	0.0	3.92
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	86.9	12.1	1.0	0.0	3.86
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	73.9	24.2	1.6	0.3	3.72
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	95.5	4.1	0.3	0.0	3.95

*両日ともに、4（あてはまる） ←————→ 1（あてはまらない）

7 成果

(1) 講義について

- ・一部の受講生の態度が気になる場面があったが、全体としては意欲的に受講した。
- ・講義内容が豊富で実践的であり、受講生のニーズに応えることができた。
- ・講義「先輩に学ぶ」では、学校で経験を重ね推進役として活躍している先生からの話ということで、話し方や内容に迫力があり、受講生は熱心に受講していた。
- ・受講者代表発表「教員生活2年目を迎えて」では、自分たちと同じ2年次の教員からの話ということで、受講生は興味深く耳を傾けていた。

(2) 協議について

- ・今年度から、午前中の講義内容と、午後の協議テーマをリンクさせて実施したこともあり、受講生は意欲的、主体的に協議に臨んでいた。
- ・少人数でのグループ協議を実施したことにより、悩みなどを共有し、今後の教育活動への前向きに取り組もうとする感想が見られた。
- ・班長を中心に、受講生が互いに協力し、協議を進行していた。

8 課題

(1) 期日・日程について

- ・欠席者は、1日目が17名、2日目が4名であり、1日目の欠席理由は、林間学校引率（小学校）や、部活動の大会引率（中学校）等があった。
- ・欠席を減らすために日程を変更することは、他事業との関係から難しい状況である。

(2) 会場について

- ・研修会場を行田市から春日部市へ変更し、受講生の負担を軽減することができた。
- ・午後の協議会場の負担を考慮し、会場校の決定については検討する余地がある。

(3) 研修内容について

- ・両日ともに講義と協議を組み合わせることにより、受講生が一層意欲的、主体的に参加できる研修会となった。